

科目名 Course Name	自主創造の基礎1 Self-independence and Creativity 1						
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	長江 庸泰						
連絡先(質問等)	メールにて対応、オフィスアワー:本館2F(研究室 1)月～木曜 9:00～16:00(授業・会議時間を除く)						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2,DP3,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>本授業は、大学生としての基本的な資質を育成するための日本大学全学共通初年次教育科目である。「自主創造の基礎1」では、日本大学で学び研究することの意義と方法について学習する共に、大学入学までの受動的な学習から転換をはかり、主体的な学修について習得させる。この授業科目は、いわゆる専門教育の前段となる基礎教育だけではなく、社会人として学修することの意義やその在り方について授業を通じて理解し、“自主創造型パーソン”を育成することをねらう。</p> <p>①大学における学習の基本的姿勢や方法を修得し、実践できるようにする。 ②専門科目での学習に活かせる研究や学習の方法を修得し、実践できるようにする。 ③グループ研究やプレゼンテーションの方法を修得し、実践できるようにする。</p>						
授業の方法	本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、自主創造に精通した人材育成を目指すものである。						
学習成果	L01						
	L02	①大学における学習の基本的姿勢や方法を修得し、実践できるようにする。 ②専門科目での学習に活かせる研究や学習の方法を修得し、実践できるようにする。 ③グループ研究やプレゼンテーションの方法を修得し、実践できるようにする。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト・期末試験等の解答を示し、結果は、メール等で個別にフィードバックする。						
教科書/参考図書	『“自主創造”のための Learning Guide』(日本大学 FD ガイドブック)及び長江庸泰作成の“デジタルテキスト[自主創造 2020 年度版]”を活用する。						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習各回 180 分、本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する自主創造の教えを基に、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:会社役員 職歴:40 年)、実務経験を自主創造活動の実践面と学習・説明等で活用する。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の3点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S 評価の基準:上記参加態度を全て満たすもの。		10		
レポート/作品	Sのレポートの評価:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月1回計3回提出予定(締切は各月末)。		30		
発表	Sのレポート発表評価:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。		20		
小テスト	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-		20		

佐野日本大学短期大学 2020 年度シラバス

	89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59				
試験	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59		20		
その他	上記評価基準に基づき成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59				
合 計			100		

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。
	事前・事後学習	事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)。
2	授業内容	日本大学の歴史。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
3	授業内容	大学で学ぶということ(高等学校との「学び」の違い)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
4	授業内容	授業を受ける(講義・演習・実習・ゼミナールの作法、討論・質疑)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
5	授業内容	文献(本・論文・各種資料)を探す 図書館見学 図書館・インターネットの利用法。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
6	授業内容	文献の読み・まとめる 文献の読み方・まとめ方。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
7	授業内容	文献のレポートを作成する レポートの作成方法。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
8	授業内容	グループワーク1 発表・討議。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
9	授業内容	グループワーク2 発表・討議。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
10	授業内容	プレゼンテーションの基礎1 プレゼンテーションの方法。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
11	授業内容	プレゼンテーションの基礎2 グループワーク。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
12	授業内容	プレゼンテーションの実践1。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
13	授業内容	プレゼンテーションの実践2。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
14	授業内容	課題学習 課題レポートを書く。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
15	授業内容	まとめと総括。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。